

第七十回帝國議會 院 軍事救護法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 軍事救護法中改正法律案(政府提出) 救護法中改正法律案(政府提出) 母子保護法案(政府提出)

會議

昭和十二年三月六日(土曜日)午前十一時一分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川島正次郎君

理事岡田 春夫君 理事八角 三郎君

堀内 良平君

高木条太郎君 升田 憲元君

齋藤 直橋君 服部米次郎君

片山秀太郎君 伊東 岩男君

林 路一君 松本治一郎君

前田 幸作君

三月六日委員南條徳男君辭任ニ付其ノ補闕トシテ片山秀太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日四日理事千代木隆吉君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日六日岡田春夫君理事ニ當

選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 河原田稼吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 大村 清一君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 山崎 巖君

大藏次官 賀屋 興宣君

大藏書記官 木内 四郎君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

海軍次官 山本五十六君

海軍主計大佐 山本丑之助君

司法次官 長島 毅君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法書記官 森山武市郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍事救護法中改正法律案(政府提出)

救護法中改正法律案(政府提出)

母子保護法案(政府提出)

○川島委員長 是ヨリ開會ヲ致シマス、議

事ニ入ルニ先ダチマシテ御諮リスルコトガ

ゴザイマス、前ノ理事ノ手代木君ガ委員ヲ

辭任セラレマシタノデ、理事ノ補闕選舉ヲ

行フコトニナルノデアリマスルガ、先例ニ

依リマシテ、委員長カラ指名シテ差支ゴザ

イマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○川島委員長 御異議ナイモノト認メマ

ス、ソレデハ岡田春夫君ニ御願致シマス

——此際本委員會ニ併託ニナリマシタ救護

法中改正法律案、母子保護法案、此二件ヲ

一括議題ニ供シマス、先ヅ政府ノ説明ヲ求

メルコトニ致シマス

○廣瀬政府委員 只今上程ニナリマシタ救

護法中改正法律案ノ提案理由ニ付キマシ

テ、大要ヲ御説明申上ゲマス、御承知ノ通り

救護法ハ昭和四年ノ四月ノ制定ニ係リマシ

テ、昭和七年ノ一月カラ施行サレタノデア

リマシテ、爾來我國ノ救貧法制ノ根幹トシ

テ、國民生活ノ安定ニ寄與スル所ガ少クナ

カッタノデアリマシテ、本法ニ依ル救護人員

及ビ救護費ハ累年増加致シマシテ、昭和九

年度ニ於キマシテハ救護人員ガ約二十万五

千人、救護費ガ約六百十三万圓、昭和十年

ニ於キマシテハ救護人員ガ二十万一千人、救

護費ガ約六百二十三万圓ニ達スル狀況デ、

之ニ對スル國庫補助豫算ハ施行以來年額約

二百八十三万圓デアッテ、補助率ハ昭和八年

度マデハ二分ノ一ノ割合ヲ維持致シマシタ

ガ、昭和九年度カラハ是ガ下リマシテ四割

四分三厘五毛、昭和十年度ニハ四割四分一

厘九毛ニ低下スルニ至ッタノデアリマス、斯

様ニ國庫補助率ノ低下ハ、市町村ヲシテ救

護費財源トシテノ國庫補助ニ對スル信賴ヲ

失ハシメマシテ、爲ニ適正ナル救護ヲ阻碍

スル虞ガアリマスノデ、政府ニ於キマシテ

ハ昭和十一年度ニハ五十万圓ヲ増額シ、約

三百三十三万餘圓ヲ計上シタノデアリマ

ス、併シ根本的ニ考ヘマスト、救護費ニ對

スル國庫補助率ガ不確定デアルコトハ、道

府縣及ビ市町村ヲシテ必要ナル救護ヲモ手

控ヘセシメルト云フ結果ニ陥リ易イノデア

リマシテ、又町村ニ於キマシテハ道府縣及

ビ市ニ較ベマシテ、其財政ガ概ネ貧弱デア

ル爲ニ、必要ナル救護ヲモ爲サヌト云フヤウ

ナ所モアリマスノデ、現行法ニ於キマシテ

國庫補助率二分ノ一以內トアリマスノヲ、

道府縣及ビ市ニ對シマシテハ二分ノ一、町

村ニ對シテハ十二分ノ七ノ確定率ト致シ

マシテ、將來國庫補助ノ豫算ハ之ヲ補充

課目ト致シ、適正ナル救護ヲ爲サシメルコ

トガ、現下社會ノ實情ニ鑑ミマシテ、最モ

必要ナコトト認メラレルノデアリマス、右

國庫補助率ニ關スル規定ノ改正ガ、今回ノ
 本法改正ノ主要ナル點デアリマスルガ、尙
 ホ方面委員令ガ去ル一月十五日カラ施行セ
 ラレマシタルニ伴ヒマシテ、從來方面委員
 フテ充テ、來マシタ委員ヲ、法律上モ方
 面委員令ニ依ル方面委員ヲ以テ充テルコト
 ト致シ、名實共ニ一致セシムルヲ便利ト致
 シマスルノデ、此點ニ付テモ此際併セテ改
 正ヲ致シタイト思フノデアリマス、右ノ外
 現行法ニ於キマシテハ、救護ヲ受ケタル者
 ノ扶養義務者カラ、救護費ヲ徵集スルコト
 フ得ルノ規定ガナカッタノデアリマスガ、本
 法施行ノ經驗ニ徴シマスルニ、不當ニ救護
 フ免レントスル者モナイデハアリマセヌノ
 デ、救護ヲ受ケタル者ノ扶養義務者ヨリ
 モ、救護費用ヲ徵集シ得ルノ規定ヲ新ニ設
 ケントスルノデアリマス、以上ガ改正法律
 案提出ノ趣旨ノ概略デアリマス、之ニ要シ
 マスル經費ニ付キマシテハ、別ニ豫算案ヲ
 提出シテアルノデアリマス、何卒御審議ノ
 上、速ニ御協賛アランコトヲ望ミマス

次ニ母子保護法案ニ付テ提案ノ理由並ニ
 其要旨ヲ説明致シマス、凡ソ子女ヲ養育致
 シマスルコトハ、母タル者ノ最モ重要ナル
 任務デアリマスコトハ、申ス迄モナイ所デ
 アリマス、然ルニ母ガ家計ノ維持者デアッタ

夫ヲ失ヒ、又ハ其夫ガ傷病等ノ爲ニ勞働不
 能ニ陥ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、母ハ
 子女養育ノ責任ニ加ヘテ、更ニ家計維持ノ
 責任マデモ負ハネバナラスノデアリマス、
 此二ツノ重大ナ責任ヲ全ウスルコトハ、中
 中ニ至難ナ事デアリマシテ、或ハ生活ノ爲
 ニ子女ノ養育ヲ犠牲ニスルトカ、或ハ子女
 ノ養育ニ追ハレマシテ、生活スルコトガ出
 來ナイデ、遂ニ悲慘ナル結果ヲ見ルニ至ル
 ガ如キコトモ、其事例ニ乏シクナイノデア
 リマス、是等不幸ナル母子ヲ保護スベキ制
 度ノ必要ナルコトハ、早クカラ識者ノ間ニ
 唱ヘラレマシテ、又政府ニ於キマシテモ研
 究ヲ重ネツ、アツタノデアリマシテ、昭和四
 年ノ救護法ノ制定ニ當リマシテ、幼兒ヲ保
 育スル母ヲ救護スルコトニ致シマシタノ
 モ、一部此趣旨ヲ取入レタモノデアリマス、
 然ルニ近時社會ノ情勢ハ愈々複雑トナリマ
 シテ、生活ノ困難ハ益々増大スルニ至リマシ
 テ、此種ノ不遇ナル母子ニシテ、生活ニ困
 窮スル者ノ數モ増加シ、國家將來ノ爲ニ深
 憂ニ堪ヘヌモノガアルニ至リマシタ、到底

現在ノ制度ヲ以テシテハ、保護ノ徹底ヲ期
 スルコトガ出來ナイト認メマシタノデ、今
 回國民生活安定ノ一方策トシテ、母子保護
 法ノ制定ヲ企圖致シマシテ、茲ニ本案ヲ提

出スルニ至ツタ次第デアリマス、今本法案ノ
 要旨ニ付キマシテ述べマスレバ、第一扶助
 フ受クル者ノ資格デアリマスルガ、十三歳
 以下ノ子供ヲ自分ノ膝下デ育テ、不遇ナ母
 ガ、貧困ノ爲ニ生活スルコトガ出來ナイ場
 合ニ、扶助スルコトニ致シテ居リマス、併
 シ此場合デモ母ガ性行其他ノ事由ニ因リマ
 シテ、子女養育ノ資格ニ於テ缺クル場合、
 又ハ扶助ヲ受クル母及ビ子ニ扶養義務者ガ
 アツテ、其者ガ扶養ヲ爲シ得ル場合ニハ、扶
 助ハ致サナイノデアリマス、第二ニ扶助ノ
 機關ハ母ノ居住地ノ市町村長ヲ以テ當テマ
 シテ、方面委員ヲ其補助者ト致シテ居リマ
 ス、第三ニ扶助ノ種類ハ、生活扶助、養育
 扶助、生業扶助及ビ醫療ト致シ、又埋葬ヲ
 モ行ヒ得ルコトトシテ、其程度ハ何レモ救
 護法ト均衡ヲ保タシメル方針デアリマス、
 第四ニ扶助ヲ受クル母ニ對シテ、子ノ養育
 上必要ナル注意ヲ與フル權能ヲ市町村長ニ
 與ヘ、又母子ノ居住其他保護ノ爲ニ、保護
 施設ノ設置ヲ認メマシテ、本法案ノ趣旨ヲ
 達成スルニ遺憾ナキヲ期シタ次第デアリマ
 ス、第五ニ本法施行ニ伴フ經費ハ、救護法
 ト同様ニ母子ノ居住地ノ關係道府縣、又ハ
 市町村ガ之ヲ負擔シ、之ニ對シテ地方費及
 ビ國費ヲ補助スルコトト致シタノデアリマ

ス、以上本法案ノ要旨ニ付御説明申上ゲ
 タノデアリマスルガ、本法ノ施行ニ伴ヒマ
 シテ、扶助ヲ受クベキ母子ノ數ハ約九万五
 千人ノ見込デ、之ニ要スル經費ハ一箇年約
 四百七十三万圓、内國庫補助ハ二百五十九
 万圓餘ノ見込デアリマス、尙ホ本法ハ昭和
 十三年一月一日カラ施行セラル、豫定デア
 リマスカラ、昭和十二年度ニ於キマシテ
 ハ、三箇月分ノ國庫補助豫算額六十四万餘
 圓ヲ、別途豫算案ニ計上致シタノデアリマ
 ス、要スルニ本法案ノ目的ハ、不遇ナ母ヲ扶
 助シテ其子女ノ養育ヲ完カラシメ、延イテ
 國家ノ將來ヲ擔當スル兒童ノ健全ナル發達
 ヲ期セントスルモノデアリマスルカラ、現
 下ノ我國トシテハ、極メテ緊要ノ時務タル
 ヲ疑ハヌノデアリマス、何卒御審議ノ上、
 御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致ス次第デ
 アリマス

○川島委員長 是ニテ休憩ヲ致シマス、午
 後一時カラ再開ヲ致シマス
 午前十一時十三分休憩

午後一時三十分開議
 ○川島委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、軍
 事救護法中改正法律案ノ質問ヲ續行致シマ
 ス——齋藤君

○齋藤委員 大體質問ハ終ツタノデアリマ

スケレドモ、昨日吾々ノ黨ノ委員デ打合せ
會ガアリマシテ、尙ホ政府ノ意見ヲ質シタ
イコトガ多少殘ツテ居リマスカラ、簡單ニ御
同致シタイ、ソレハ此軍事救護法ニ依ツテ保
護サレルコトニ付テ、内縁關係ノ質疑ガ嘗
テアツノデアリマス、ソレニ對シテ政府ノ
御答辯ヲ重ネテ御伺シタイ、ソレハ今回此
委員會ニ併託ニナリマシタ母子保護法ニ依
リマス「配偶者（屈出ヲ爲サザルモ事實
上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）」
斯ウ云フコトニナツテ、所謂内縁關係ヲ認メ
テ居ルノデアアル、軍事救護法ノ改正ノ關係
ニ付キマシテハ、此内縁關係ヲ認メヌトナツ
テ居リマスガ、是ハドウ云フ理由デアルカ、
吾々ノ推測致ス所ニ依リマス、一方ハヤ
ハリ法律關係ヲ主ニ致シマシテ、母子保護
法ニ於キマシテハ、配偶者或ハ母デアルト
カ、子デアルトカ、サウ云フ事實ニ重キヲ
置カレタト云フヤウニ、御答辯ニナリハセ
ヌカト思フノデアリマススケレドモ、ドウ
モ其邊ノコトガ、ハッキリ分ラヌノデアリマ
ス、救護法ニ於テ何故ニ之ヲ認メラレナカッ
タカ、サウ云フコトヲ御尋致シマス

○廣瀨政府委員 軍事扶助法ニ於キマシテ

内縁ノ關係、内縁ノ妻ニ對スル扶助ヲ認メ

マセヌノハ、前ニ繰返シテ申シマシタノデ
アリマスガ、其最モ主ナ原因ハ、ヤハリ軍
人ハ名譽ヲ重ンズル、ソレデ内縁ノ妻ト云
フヤウナコトデナシニ、ヤハリ軍人ノ場合
ニハ民法ノ規定ニ依ツテ、ソレヲ屈出ヲ爲シ
テ内縁關係ヲ法律上ノ關係ニスルヤウニ勸
メル、サウシテ軍人ニ付テハ名譽ノ爲ニ内
縁關係ノ問題ヲ生ジナイヤウニシヨウ、斯
ウ云フノガ本當ノ根本デアリマス、ソレカ
ラ内縁關係ノ妻等ノ問題ニ付キマシテハ、
軍事扶助法デ扶助セラレマセヌデモ他ノ扶
助團體ノ扶助ハ無論アリ得ル譯デアリマ
ス、ソレカラ尙ホ救護法ニ基ク扶助モアリ
得ル譯デアリマス、唯軍事扶助法トシテハ
軍人ノ名譽ノ爲ニ、ヤハリ内縁關係ト云フ
法律上ナイ關係ノモノハ認メナイデ行カ
ウ、斯ウ云フ立前デアルト思ヒマス、母子
保護法ノ方ハ、是ハ全ク救護法デアリマシ
テ、軍事扶助法ハ法自體ハ初メヨリ救護法
デハナイノデアリマシテ、ヤハリ軍人ヲ負
困デアルカラ救フト云フヤウナ救護法トハ
違ヒマシテ、軍人ノ任務ヲ果スニ付テ後顧
ノ憂ナカラシムルヤウニスルト云フ尊イ意
味ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此
救護法ト軍事扶助法トハ其根本ノ觀念ガ
違ツテ居ル、ソレカラ母子保護法ノ方ハ、是

ハ救護法ト同ジデアリマシテ、貧乏ナモノ
ヲ救フト云フダケノ意味デアリマシテ、隨
ヒマシテ母子保護法ト軍事扶助法トハ、全
ク根本精神ガ違フノデアリマスカラ、ソコ
デ内縁關係ノ取扱ニ付テモ異ルノデアリマ
ス

ラ、ソレハ多勢ノ軍隊或ハ下士官兵ノ名譽
ノ爲ニモ、是ハ救護シナケレバイケナイモ
ノト思フ、吾々昨日此點ニ關シテ相談ヲ致
シマシテ、ドウモ其點ガ了解シ兼ネル、サ
ウ云フ點デ質問ヲ致スノデアリマス、重ネ
テ其點ヲ一ツ御伺致シマス

○齋藤委員 然ラバ此下士官兵ノ死亡者ノ

配偶者デアツテ、他ノ世帯ニ入ツテ居ル者ハ、
救護法ノ恩惠ヲ受ケナイコトニナルヤウニ
思フノデアリマススケレドモ、其點ナドハド
ウ説明ナサルノデアリマス、ソレヲ御伺
致シマス

○廣瀨政府委員 只今ノヤウナ人が、同一

ノ世帯ニナイト云フヤウナ場合、別ノ世帯
ニ入ツテシマッタト云フ場合ヲ御心配デアリ
マスガ、其場合ニハ軍事扶助法ハ適用ガア
リマセヌ、但シ其人ガ困ツテ居リマスレバ、
ソレハ一般救護法ニ依リマシテノ救濟ハア
リ得ル譯デアリマス

○齋藤委員 ドウモ私先ニ質問致シマシタ

コト、只今ノ御答辯ト比較致シマス、其
間ニ一貫シテ流レタ考ガ、徹底ヲ缺イテ居
ルヤウニ思フノデアリマスガ、最初ノ配偶
者ノ點ニ付テノ御答辯一貫スルナラバ、
ヤハリ他ノ世帯ニ入ツテ居ル者デアツテモ、
配偶者タルニ變リハナイノデアリマス、カ

○山崎政府委員 配偶者ノ場合ニ於キマシ

テモ、同一ノ戸籍ニゴザイマスレバ、當然
ニ軍事扶助法ガ適用ニナル譯デアリマス、
唯戸籍モ違ヒマスシ、ソレカラ又世帯モ違
フト云フ場合ニハ、先程社會局長官カラ申
上ゲマシタヤウニ、本法ハ適用ガナイ譯デ
アリマス

○齋藤委員 ソレハヤハリアナタノ御話ノ

通り、戸籍モ違ヒ世帯モ違フ、ソレデアッ
テモ配偶者デアルニハ一向變リハナイ、ド
ウシテサウ云フモノヲ扶助サレナイカ、社
會局長官ガ先刻御述べニナツタヤウナコト
ガ、此立法ノ趣旨デアルナラバ、サウ云フ
者モヤハリ是ハ扶助シナクチャイカヌ、其
點ハドウデアリマス

○山崎政府委員 家モ違ヒ且ツ世帯モ違フ

ト云フ場合デアリマスレバ、先程社會局長
官カラ申上ゲマシタヤウニ、本法ガ唯一
ノ救護法デナクシテ、軍人ノ名譽ヲ尊重ス
ルト云フ立法ノ趣旨デゴザイマスカラ、サ

ウ云フ場合ニ之ヲ救護スルノハ適當デナイト、斯ウ云フ觀念デ之ヲ除イタ譯デアリマス

○齋藤委員 ドウモ其點ハ吾々了解シ兼ネ

ルノデアリマスガ、戸籍ガ分レテモ、或ハ世帯ガ離レマシテモ、ヤハリ軍人ノ妻デア

○山崎政府委員 戸籍モ違フシ又世帯モ違

フト云フノハ、結局煎ジ詰メテ見マスト云フト離縁シタ場合デアルトカ、或ハ全然結

○齋藤委員 ドウモ……此問題ハ此程度ニ

致シテ置キマス、今日ハ内務大臣ガ御出席ニナッタヤウデアリマスカラ、最後ニ内務大

ノ感ガアリマシテ、立法ハ極メテ結構デアリ

テモ、豫算ガ足ラヌト云フコトガ分ルノデ

内務大臣ハ此豫算ヲ以テ、此法ノ運用ヲ一ツ

○河原田國務大臣 社會局長官カラ御答申

上ゲマシタ通りデアリマシテ、是デ以テ圓滑ニ支障ナク行ク積リデアリマス、尙ホ私

ハ本會議デ御答シタト記憶シマスガ、萬

知ノ通り補充費目デアリマスカラ、其時ニハ特別ノ支出ヲスル、斯ウ云フ風ナ途モア

期スル積リデアリマス、又大體ノレデ行ク積リデアリマス

○松本委員 私ハ海軍當局ニ一寸御尋スル

ノデアリマスガ、去ル三月二日ノ委員會デ、私ノ海軍當局ニ質問致シマシタノハ、差別

ニ如何ナル御考ガアルカト、斯ウ御尋シタ

別ノアルコトヲ知ラセナイヤウニ極力ヤルト同時ニ」ソレト先ノ方ニ「副長、艦長等

○山本政府委員 海軍トシテハ差別ノアル

ベキモノトハ思ッテ居リマス、此問題ヲ松本

サンカラ提出サレタガ爲ニ、斯ウ云フコトヲ言ウタノデ、實ハ初メ差別々々ト言ハレ

ガ、社會局長官カドナタカ、他ノ政府委員カ

フ風ニ言ハナケレバ分ラヌモノデスカラ、サウ言ッダケノ話デ、決シテ差別ヲ受クベ

○松本委員 サウ云フ御考デアリマスレ

バ、此言葉ハ出ナイト思フノデアリマスガ……併シ大體カラ見マシテ御氣持ハ能ク分

○山本政府委員 ソレハ何處ノ所デアリマ

スカ

ハアリマセヌカラ、ソレガ若シサウ云フ風ニ聽エタト致シマスレバ、其點ハ取消シテ置キマス、決シテサウ云フ精神デハナク、又サウ云フ扱ヲシヨウトハ思ッテ居ラヌノデアリマスカラ、御承知ヲ願ヒマス

○松本委員 能ク分リマシタ——次ニ陸軍當局ニ……

○川島委員長 一寸松本君ニ御注意シマシガ、二時カラ豫算總會ガアリマシテ、内務大臣、陸海軍次官、大藏次官、皆其方ニ出ナケレバナラヌノデアリマスカラ、成ベク簡單ニ願ヒマス

○松本委員 出來ルダケ簡單ニヤリマス、私ノ今日陸軍當局ニ御尋セントスルモノハ、軍部ノ所謂國防ニ對スル所ノ考ヘ方デアリマス、具體的ニ申シマスナラバ、軍部當局ハ、廣義國防ノ立前デ行カレテ居ルカ、狹義國防ノ立前デ進ンデ居ラレルカト云フコトヲ、御尋スルノデアリマス、私ノ言フ廣義國防ト云フノハ、直接的ナ軍備ノミデナクシテ、國民生活ノ安定ト云フモノヲモ、國防ノ重大ナル一要素トシテ、ソレヲ取入レルト云フ廣イ意味ノ國防デアリマシテ、狹義國防ト云ヒマスノハ、國民生活ハドウデモ宜イ、先ヅ直接的ナ軍備ノ充實サヘ圖レバ宜イ、斯ウ云フ狹イ意味ノモノヲ狹義

國防ト申スデノアリマスガ、之ニ對スル所ノ軍部當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○梅津政府委員 軍ト致シマシテハ、勿論狹義國防ト云フコトハ、軍自體トシテハ考ヘテ居リマスガ、廣義國防ニ付テモ、軍トシテハ大ナル關心ヲ有ッテ居リマス、廣義國防ト云フ觀點カラ、國防ノ充實ト云フモノハ初メテ完璧ヲ期セラレルモノデアルト考ヘテ居リマス

○松本委員 先日陸軍大臣ノ、私ノ本會議ニ於ケル質問ニ對スル御答辯ニハ、斯ウ云フコトガアッタノデアリマス、只今ノ御質問ニ對シマシテ御答申上ゲマス、只今ノ御質問トシテハ、兵役ニ服シテ居リマスル者ノ家族ニ、一律ニ物質的保護援助ヲ與ヘヨト云フ御話デゴザイマシタ、此點ニ付キマシテハ、我軍ノ兵役義務ハ最モ崇高ナル犠牲奉仕ノ觀念ニ出發ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、斯ノ如キ觀念ニ於テ御奉公スルコトニ依ッテ、初メテ一般國民ノ感謝感激ニ依リマシテ、期セズシテ是等ノ兵役義務者ニ對スル所ノ御熱誠ナル御後援、御援助ヲ獲得スルモノト存ジテ居リマス、若シ之ヲ兵役ニ服シテ居ル者ニ一律ニ物質的ノ補助ヲ與ヘルト云フコトニナリマスルト、只今御

話ノアリマシタヤウニ、備兵制度ノ形ニナリハセヌカト云フ虞ガアルノデアリマス、斯ノ如キ次第ニ依リマシテ、一律的ニ保護ヲ致シマスルト云フコトニ付テハ、軍部ハ目下ノ所同意ハ致シテ居リマセヌ、尙ホ生活ニ困ッテ居ル者ニ關シマシテハ、既ニ軍事救護法ニ依リマシテ救護セラレマシテ、此方法ハ曩ニ内務大臣カラ云々」又軍部大臣曰ク「私ハ第一線ヲ勝タセル爲ニハ、吾々内地ニ止マッテ居ル者ハ、如何ナル困難ガアツテモ、粥ヲ啜ッテモ、第一線ヲ勝タセルヤウニ致スベキデアルデハナイカト私ハ存ジテ居リマス、サウ云フ考ノ下ニ今日ノ軍事費ヲ要求致シテ居ルノデアリマシテ、此邊ヲドウゾ宜ク諒察下サイマシテ、先ヅ此度ノ豫算ニ於テ提出致シテ居リマスル所ノ云々」國內ニ居ル者ハ粥ヲ啜ッテモ辛抱シナケレバナラナイ、第一線ニ居ル者ヲ勝タセル爲ニハ、ソレヲモ犠牲ニシナケレバナラナイト云フヤウナ御答辯デアッタ、サウ云フ方針デ行カレルノヲ、私ハ狹義國防ト云フノデスガ……

○梅津政府委員 狹義國防ト廣義國防トノ意義、是ハハッキリ定義付ケラレタモノト存ジマセヌ、只今ノヤウナ精神ヲ狹義國防ト謂フトカ、廣義國防トカ謂フトコトニ定義

付ケルコトハ、ドウデアラウカト思ヒマス

○松本委員 ハッキリ御答方出來ナイ譯デスネ、廣義國防ト狹義國防ト……

○梅津政府委員 イヤ、狹義國防ト申シマスノハ、直接軍事ニ關係シタ方ヲ狹義國防ト申シマシテ、廣義國防ト云フノハ、其基礎ニナル全般ノ國力ヲ養フコト、國民生活ノ安定ヲ圖リ、産業ノ開發ヲスルトカ云フ全般ノ國防、國力ヲ國家全體カラ見テ付ケルコトガ、廣義國防デアルト思フノデアリマス、併シ只今御話ニナリマシタ事柄ハ、兵役ニ對スル崇高ナル觀念ヲ何處マデモ維持シテ行カナケレバナラヌト云フ精神ト、又國民ガ如何ナル困難ヲ冒シテモ、第一線ニ立ツ者ヲ支援シテ行カナケレバナラヌト云フ國防觀念ト云ヒマスガ、其精神ヲ謂フノデアルト云フ只今ノ御話デアッタト思フノデアリマスガ、是ハ廣義國防ノ部類ニ屬スルト申シテモ宜イカト思ヒマスルガ、之ヲドチラノ部類ニ屬スルカト云フコトニ付テハ、見方ニ依ッテデアリマスルノデ、御尋ノ趣旨ガ、ハッキリ私ハ吞込メナカッタノデアリマスルガ、廣義國防ニ屬スルト云フテモ宜カラウカト思フノデアリマス

○松本委員 可ナリ長イ間、私ハ軍ノ風紀ノコトニ付テ、色々ナ話ヲ聞カセラレテ居

ルコトヲ遺憾ト思フテ居ル者デアリマス、特ニ滿洲事變以來、將校ノ風紀ト云フコトニ付テハ、聞キタクナイコトヲ聞セラレテ居

ルノデアリマスケレドモ、ソレハ私ハ實際ニ當ツタコトガナイモノデスカラ、サウ云フ

コトガアツテハナラナイト云フ考ノミヲ持ッテ居ツタ、所ガ二月二十七日ノ東京日日新聞

ガアリマスガ、新聞ヲ此儘信ジマスレバ問題ト思フノデアリマス「靴ノ儘三階へ上リ、

准尉、泥酔シテ暴行、逃ゲル女中ヲ追ヒ討チ、制止セントシタオ客ヲ毆ル、二十七日

午前零時頃牛込區下宮比町一ノ一飯田橋角料理店濱銀コト矢澤マササン方ニ泥酔シタ

六人連レノ軍人が自動車ヲ乗付ケ、靴ノ儘三階ニ上リ込ダノデ、受持女中尾形キク

サン(三三)ガ止メルト其中四人ハ、其儘歸ツタガ、殘ツタ准尉ノ軍服ヲ著タ二名ハ、憤慨

シテ一人ハ拔劍シタノデ、キクサンガ驚キ階下ニ逃出シタノデ追掛ケテ來テ、キクサ

ンノ背後カラ左腕ニ斬付ケ、着物四枚ヲ通シテ十日間ノ傷ヲ負ハセ、之ヲ制止シヨウ

トシタ同區西五軒町三二染物業小林氏方雇人鶴岡四郎君(二九)ニ「メリケン」ヲ喰ハ

セ、尙モ暴レルノデ、同家カラ神樂坂署ト牛込憲兵分隊ニ急報、憲兵隊カラ憲兵二名、署カラハ五名ノ巡查ガ駆付ケ、二名ノ軍人

ヲ牛込憲兵分隊ニ引渡シタ」斯ウ云フコトガアツタヤウデアリマスガ事實デアリマスルカ

○梅津政府委員 其事柄ハマダ承知シテ居リマセヌ、事實デアツタカドウカト云フコト

ハ、ハッキリ申上兼ネマス

○川島委員長 松本君マダアリマスカ

○松本委員 ソレ位デ宜イデセウ

○升田委員 内務大臣ニ御伺ヒシタイノデ

スガ、是ハ本會議ノ時ニモ一寸申シテ置キ

マシタ、幸ヒ大臣ガ御出席ニナツテ居リマ

スカラ、モウ少シ詳シク御意見ヲ伺ッテ置

キタイ、先ヅ此名稱ノコトデアリマスガ、

軍事救護法ト云フモノヲ制定スル當時ニ

ハ、内務省ガ此案ヲ制定スル以前ニ於テ、議員案トシテ此議會ヲ通過シタコトガアル、其時ニ救助トカ、扶助トカ云フヤウナ

名稱ハ、從來ノ貧民救助ノ法規ノ上ニハ澤山アリマシタケレドモ、ドウシテモ扶助ト

カ、救助トカ云フコトデハイカヌト云フコトデ、色々研究シタ結果ガ、救助ト云フ字

ヲ初メテ發見シタ、此救助ト云フコトハ、當時扶助ニ關スル規定ニハ何等ナカッタ、唯

水難救護法ト云フノガ一ツアリマシタ、所ガ水難救護法ト云フモノハ、御承知ノ如ク

船舶ガ沈没スルトカ、或ハ坐礁スルトカ云

フヤウナ、危険ナ場合ニ關スル法規デアアル、

デアアルカラ救助ト云フ文字ヲ使ッテモ、大シ

ク御助ケト云フ意味ハナイダラウト云フ意味

カ、此救助ト云フ文字ヲ、餘程苦心ヲシテ附ケタモノデアリマス、當時ソレデモ

マダ足ラヌ、ソレ以上ナモット保護トカ、或ハ慰藉トカ云フヤウナ、モウ少シ御助ケト

云フコトノ意味ガ現レヌモノヲ用ヒタイト云フ意見モアリマシタガ、兎ニ角マア是デ

ヤラウヂヤナイカト云フコトガアツタ、ソレヲ内務省ノ方デモ法律トシテ制定ナサル時

ニモ、其研究ノ結果ガ此救助ト云フコトニナツタ、所ガ其後今日マデ約二十年デアリマ

スガ、數年前ニ一般貧民救助ニ付テノ法規ヲ統一シテ救護法ト云フモノヲ内務省デ御

作りニナツタ、軍事救護法ト云フモノガアルノニ、救護法ト云フモノヲ御作りニナツ

トハ、是ガドウ云フ意味デアツタカ、私ハ想像デアリマスケレドモ、此軍事救護ト云フ

モノヲ、ヤハリ一般貧民救助ト云フヤウニ當時ノ當局ガ御解釋ニナツタ結果、同ジコト

ニ統制シタ方宜イデヤナイカ、貧民救助ト同ジヤウニ、ヤハリ軍事救護ト云フモノ

ガアル以上ハ、救助トシタ方宜イト云フコトカラ、統制ノ意味デ救護法ト云フモノ

ヲ御作りニナツタノダト思フ、所ガ最近ハ此

軍事救護法デハイケナイ、殊ニ貧民救助ト同ジヤウナ法律名ト混同サレルト云フ虞ガ

アルノデ、從來ヨリ言ハレテ居ル助ケル意味即チ扶助ト云フ意味ガ一層濃厚ニナツ

ト云フノデ、此名稱ガ非難サレルコトニナツタノデアリマス、ガ何故カ今同之ヲ御改正

ニナルト云フノニ、此從來ノ軍事救護法ト云フモノヲ追ヒ出シテ、サウシテ後カラ出

來タアノ救護法ト云フモノハ其儘ニシテ、

謂ハ、庇ヲ貸シテ母家ヲ取ラレタ、大臣ハ

内務省ニ長ラクオキデニナツタ、而モ社會局

ニ居ラレタカラ御承知デモアリマセウガ、

今日ノ社會局ノ基礎トナツタ救護課ト云フ

モノハ、何デ此豫算ガ出タカト云フト、御

調ベニナツタラ能ク判リマスガ、是ハ實ハ軍

事救護法ノ費用デ全部賄ッテ居ツタ、軍事救

護費用ノ豫算デ以テ、初メテ救護課ト云フ

モノヲ作ツタ、ソレマデ内務省ニ救護課ト云

フモノハナカッタ、地方課——府縣課ノ隅ニ

二三ノ囑託ヲ置イテ、ソレデヤツテ居ツタ、

此費用ヲ以テ初メテ救護課ト云フモノヲ内

務省ガ作ツタ、ソレカラ更ニ社會課ニナル時

モ、ヤハリ其救護費デヤツタノデアリマス、

到頭社會局ニナリマシタノモ、其社會課デ

初メテ豫算ガ取レタカラデアリマス、デア

リマスルカラ、社會立法ノ初メハ此軍事救

護法デアット同時ニ、此今日ノ救護法ノ基礎ト云フモノハ、軍事救護法カラ生レタ、ソレデアルカラ其點カラ申シマスルト、軍事救護法ト云フモノガ初メテ出來タ爲ニ、今日ノ社會立法ノ基礎ヲ開イタト云フコトモ言ヘルノデアリマス、然ルニ其軍事救護法ノ主ナルモノヲ抛リ出シテ、ソレヲ扶助ト云フヤウナ名稱ニ變ヘルト云フコトハ、一體ドウ云フ譯デアルカ、私カラ申シマスト、軍事救護法ト云フモノガアルノニ、ワザノ外ノ貧困者救助ヲ救護法ト變ヘテ、ソレガ爲ニ具合ガ惡イカラト言ウテ軍事救護法ヲ追ヒ出シテ扶助法ニ改メルコトニナルト、母家ヲ取ツダケデナイ、愈々雪隠詰ニスルト同ジヤウニナル、何故軍事救護法ト云フコトデハ混同スルト云フナラバ、後カラ付ケタ一般ノ救護法ノ名稱ヲ御改メニナラヌノカ、後カラ救護法ヲ作ッテ置イテ、ソレガ爲ニ折角先輩ガ軍事救護ト云フ文字ヲ付ケテ置イテ居ルノヲ、ソレヲ捨テ、一段下ツタ所ノ助ケルト云フ字ガ二ツアル扶助ト云フヤウナコトニ爲サルカ、今マデノ政府委員ノ答辯デハ首肯ガ出來ナイ、是ハ私バカリデハナイ、殆ド全委員ガ首肯出來ナイト言ッテ居ラレル、ドウシテモ之ニ拘泥シテ扶助ト云フコトニ爲サルノカ、過日來

社會事業調査會デ諮問シタカラ云々ト云フヤウナコトデスガ、ソシテ責任ヲ轉嫁サレテモ駄目デアアル、調査會ノ、軍事救護法ニ付テノ顔觸レヲ見テモソシナコトハ御承知ナイノハ無理モナイ、ソレヲ責任ヲ轉嫁シテ、サウ云フ諮問案ノ答申ガアッタト云フコトハ、私ハ責任上少シク面白クナイコトダト思ヒマス、デアリマスカラ私ハ潔クサウ云フコトデナシニ、吾々ノ委員デ相當ニ案ヲ持ッテ居リマスカラ、之レニ同意シテ貰ヒタイ其一例ヲ申シマスト、是ハ最近各區役所アタリノ話ヲ聽キマスト、軍事救護法ト云フモノハ、凡ソ二十年間吾々ノ耳ニ慣レタ名稱デアアルガ、後カラ數年前救護法ガ出來タ爲ニ、是ガ改正ニナルト云フコトハ少シカシイ、デアルカラドウシテモ、ソレト混同サレル虞ガアルナラバ、救護法ノ名ヲ改メテ貰ツタナラバドウデスカ、ソレモ工合ガ惡イト云フナラバ、何トカ救ノ字ニ付テ訂正シテ貰ッテ、保護法トシタラドウデアラウカト云フ者ガアル、モウ一ツノ案トシテハ、救ト云フ字ヲ恩給トカ、支給スルト云フ給ノ字ニスル、即チ物質ヲ給シテ家族、遺族ヲ保護スルト云フ意味デ、此救ノ字ヲ變ヘテ恩給ノ給ノ字ニシタナラバドウカト云フ議ガ、大分委員ノ中ニモアル、又

ソレモ宜イガ、軍事給與法若クハ特別ノ給與デアルカラ軍事特別給與法トシタナラバドウカト云フ說モアリマスガ、私ハ是等ハ最モ適當ノ名稱ノヤウニ思フ、デアリマスカラ、是ガ爲ニ過日來屢々私以外ニ他ノ委員諸君モ言ハレテ居ルヤウニ、折角ノ此救助ヲ、御助ケヲ受ケル法ト云フコトデハ、一種ノ屈辱感ヲ持ッテ、此出願ヲシナイト云フヤウナ者モ多數ニアル狀況デアリマスカラ、此名稱ノコトヲアナタ方ノ方デ御定メニナツタカラ、何處マデモ突張ッテ行クト云フコトハ御執リニナラヌデ、潔ク修正サレタナラバ如何カト思フ、私ハ此際申上ゲマスト、少シ餘計ナコトヲ言フヤウデスガ、過日來大藏大臣ガ色々ノ稅制委員會ナリ、本會議デ御答辯ノ狀況ヲ見マスト、非常ニ答辯ノヤリ方宜イ、何故カト云フト、流石ハ實社會ニ於テ活動サレタ方ダケアツテ、決シテコダハラナイ、自分ノ部下ガ決メタカラ、局長ガ決メタカラ、課長ガ決メタカラト云フコトニ拘泥爲サラスデ、有リノ儘ニ事實ニ即シテ御答辯ヲ爲サレル此コトハ非常ニ吾々ハソレヲ愉快ニ感ズル、所ガドウモ從來ノ陋習ハ、先ヅ惡口ヲ言ヘバ官僚ノ獨善トモ言ヒマスガ、寧ろ獨善ナラバマダ結構、實際自分ガ良イト思ッテ御ヤ

リニナルナラバ宜イガ、惡イト云フコトヲ知ッテ居ッテ尙ホ強辯サレルノハ、獨善ヨリ寧ろイカヌ、斯ウ云フコトニハコダハラナイデ、他ノ法律案ト違ッテ委員諸君ハ良イ意見ヲ述ベテ、傷病兵軍人遺家族ニ同情ノ餘リ、熱辯ヲ揮ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ此點モモウ少シ吾々委員ト共鳴シテ、ドウカ一ツ圓滿ニ吾々ノ案モ採リ入レ、又アナタ方ノ案ニ吾々モ贊成シテ、此法案ノ審議ヲ圓滿ニ進メタイト思フ、吾々ハ之ニ對スル内務大臣ノ衷心ヨリ唯強辯的デナク、本當ニアナタノ眞實ノ考ヲ、一ツ述べテ戴キタイト思ヒマス、先ヅ是ダケヲ……

○河原田國務大臣 私人本會議デモ慥カ御答ラシタト思ヒマスガ、決シテ強辯デハナイ積リデアリマス、先般モ申上ゲマシタヤウニ、救護法ト云フノハアナタノ仰セラレルヤウニ、所謂貧民救濟ト云フヤウナ法規デ、此方ガ長年使ハレテ居ル、軍事救護法ト云フ言葉モ是ハ初カラ可ナリ長ク使ハレテハ居リマスケレドモ、一方ニ於キマシテ救護ト云フ言葉ヨリ、寧ろ扶ト云フ言葉ノ方ガ實際ハ救濟ト云フ譯デ、ヤハリ扶助ト云フ方ガ恩惠ノ意味ガ、比較的救護ニ比ベテ薄イ、是ハマアドウシタッテ國家ノ一ツノ國家働キデアルノデアリマスカラ、一ツノ國家

居ラレルノカ、參考迄ニ伺ヒマス

○梅津政府委員 是ハ從來モ政府委員カラ度々御説明申上ゲタヤウニ存ジマスガ、内務省トモ十分連繫シテ研究シタ結果、案ガ決ツタノデゴザイマシテ、陸軍ハ内務省ノ考ト大體一致シテ居ルノデアリマス

○川島委員長 升田君——豫算總會デ内務大臣ト大藏次官ノ出席ヲ非常ニ急イデ居ルサウデスカラ……

○升田委員 ソレデハ名稱ノコトハソレ位ニ致シマシテ第三條第二項ノ……

○川島委員長 豫算關係ノ事ダケ先ヘ御聽キ願ヘマセヌカ

○升田委員 デハ大藏次官ニ一寸御伺シマス、是ハ吾々ノ研究スル所ニ依リマスルト、十二年度ノ豫算トシテ七月以後ノ分ニ對シテ百四万圓ダケ要求シテアリマスルガ、一年ヲ通ジマスルト百三十幾万圓ノ計算ニナルノデス、所ガ先程齋藤君ノ御質問ニモアリマシタ第五條ダケデモ、是ハ過日來他ノ委員カラモ色々御質問ガアリマスルガ、從來ノ救護者ノ數倍ニナルト云フコトハ、殆ド意見ガ一致シテ居ル、ソレガ今十一万何千人デアル所ノ「生活不能ノ者」ト云フノガ今度「生活困難ナル者」ト云フコトニナリマス、一村ノ中デモ生活不能ト云フ者ハ幾

人モアリハシナイガ、生活困難ナル者ト云フヤウニ緩和サレタ以上、是ハ恐ラク數倍ニナル、現在ノ豫算ノ數倍ト云ヒマスト私共ノ考デハ殆ド一千万圓近クニナル、先程齋藤君カラモ言ハレタヤウニ、ソレヲ僅カ

ノ豫算デアルコトニナレバ、結局羊頭狗肉ノ感ガアルノミナラズ、實際ニ於テ之ヲ賄ウテ行カウト云フコトニナルト、從來救護ヲ受ケテ居ツタ者ノ金額ヲ減ゼラレルトカ、或ハ人員ヲ制限シナケレバ、多數ノ者ガ此ノ法規ノ改正ニ依ツテ、ドン／＼出願シタ場合ニ、ソレヲヤラスト云フコトハ言ヘナイ、勿付ケル譯ニハ行カナイ、困難ト云フコトガ明瞭ニナッタ以上ハ、唯僅ニ三十五錢ト云フモノヲ限界トシテ社會局長官ハソレヲ決メルノダト仰シヤルケレドモ、中々ソナコトデ満足シマセヌ、是ハ恐ラク結局ハ知事アタリニ、此問題ヲ提ゲテ争フ者ガ澤山出來マス、其結果ドウシテモ救護ヲ拒否スルト云フコトニナレバ、折角改正ニナッタ此案ノ爲ニ、怨嗟ノ聲ヲ起スト云フヤウナ者ガ多數出來ルダラウ、サウ云フコトデハ吾モ議員トシテ此範圍擴張ノ法律ヲ贊成スル譯ニハ行カヌ、却テ弊害ガアル、斯ウ云フノ豫算ガ之ニ伴ウテ支出シテ戴ケレバ、何ヨリ是以上ノコトハアリマセヌガ、

内相ノ御答辯ニ依レバ、是ハ補充費目デアルカラ、幾ラデモ言ヒ放題ニ出シテ呉レル、斯ウ云フコトデアリマスルガ、果シテ言ヒ放題ニ大藏省ハ補充費目トシテ出シ得ルカ否カ、是ハ一番大事ナコトデアリマシテ、吾々ガ贊否ヲ決スル前提要件デアリマスカラ、一寸其點ヲ大藏當局ニ伺ヒタイ

○賀屋政府委員 只今ノ御質問デアリマスルガ、今豫算ニ計上シテアリマスル經費

デ、法律ノ執行ガ出來ルヤ否ヤト云フ譯デアリマスルガ、是ハ御意見ハ色々アルヤウデアリマスルガ、内務省ノ方デ實情ニ合セテ研究サレマシテ、大藏省共々之ヲ審議致シマシテ、是デ以テ大體賄ヘルト云フ考デアリマス、大體賄ヘルト申上ゲマス、少シデモ足ラヌ時ハドウカ、斯ウ云フ御疑問ガ出ルガ、只今モ補充費デアルカラ後カラ増スノデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ其通りデアリマス、一定ノ基準ガアリマシテ、其基準ニ付テハ一定ノ金額ヲ給與スルト云フコトニナリマスレバ、其人數ト救護ヲ要スル場合ハ、必シモ豫定シタ通り行ク譯デアリマセヌ、大體豫定シマシテ實行ニ當ツテハ、ソレガ或ハ豫定ヨリ減ズル場合モアリマセウ、殖エル場合モアリマセウ、ソレニ應ズル爲ニ、只今御話ガアリ

マシタヤウニ、補充費途ニ致シタイノデス、不足ノ場合ニハ第一豫備金ヲ以テ之ヲ補充致スノデアリマス、斯ウ云フ場合ニハ幾ラヲ給與スルト云フ基準ガアリマスルカラ、ソレハ必ず守リマシテ、豫算ガ不足デアルカラシテ、其出スベキ費途ニモ出サヌ、斯ウ云フコトハ決シテアリマセヌ、サウ云フ第一豫備金ヲ以テ之ヲ補充シマシテ出ス譯デアリマス、從來補充費途ニ付キマシテハ、皆サウ云フ風ニヤツテ居リマス、尙ホ非常ニ足ラナイ場合ニハ之ヲ追加豫算ヲ以テ御要求ヲ致シマシテ、救濟ヲ受ケテ居リマス、結局法律上ノ義務ハ必ず果シテ居リマス

○升田委員 現在要求サレテ居ル豫算デ賄ヘルカ否ヤト云フコトハ、是ハ内務當局ト吾々ノ考ノ違フ所デアリマスガ、ソレヲアナタニ御伺シタノデアリマセヌガ、後段ノ補充費途ニ屬スルモノハ必要ナレバ、既ニ法律ガ制定サレタ以上ハ金額ノ制限ナク、要求ダケノ金額ハ出ス、斯ウ云フコトヲ言ツテ戴ケバ宜イガ、只今アナタノ御言葉ハサウ云フヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、其通りデアリマスカ

○賀屋政府委員 仰セノ通りデアリマス、詰リ斯ル場合ニハ斯ル金額ヲ出スト云フコトガ、法律並ニ之ニ基キマス勅令其他デ決リ

マシテ、ソレダケノモノハ必ズ出シマス、豫算デ萬一足りマセヌ場合ハ、第一豫備金ヲ以テ補充シテソレニ當テマシテ、尙ホ足りナイ場合ニハ追加豫算ヲ以テ出シマス、必ズ出シマス

○升田委員 ソレデ非常ニ安心シマシタ、サウナレバ此點ダケハ吾々ノ杞憂デアッテ、大イニ吾々ノ意ヲ得タモノデアリマスカラ、大藏大臣ニ對シテハ私ハ是以上御伺スルコトハ致シマセヌ

○川島委員長 何か本案ニ續ケテ御質問アリマスカ

○升田委員 大藏大臣ニハアリマセヌケレドモ、此以外ニマダ重要ナ點ニ付デアリマス

○川島委員長 デハ簡單ニ……

○升田委員 簡單ニヤリマス、此第三條第二號ノ終リニ、傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタ時ト云フノガアリマスガ、是ハ兵役令ニ依ッテ規定サレテ居リマス所ハ、此兵役ヲ免ゼラレタト云フノハ全部ノ兵役ヲ免ゼラレタ時ニ限ッテ居ル、一部ノ兵役ヲ免ゼラレタ場合ニハ、兵役ヲ免除シタトハ言ヘナイ、是ハ轉役ト云フ言葉ガ規定シテアル、然ルニ轉役ト云フコトガナクシテ、兵役ヲ免ゼラレタ時ト云フダケデハ、之ニ當嵌マラスモノガ澤山アル、殊ニ先ニ現役ヲ免ゼラレ、

後ニ兵役ヲ免ゼラレタヤウナ場合ハドウナル、初メノ分ハ結局失格者デアッテ、此適格者デハナイト云フコトヲ此前モ御伺シタ所ガ、之ニ對シテイヤソレハ從來ノ慣用ダカラ斯ウ云フコトニシタト言ハレル、慣用デヤナイ、法律ニ立派ニ兵役免除ト云フ規定ガアル以上ハ之ニ反スル意味ノ法語ヲ此儘デ使用スルコトハ、イカヌト思ッテ居リマシタケレドモ、是モ此間カラ修正ノ意向ガナイヤウデスカラ、内務大臣ハ社會局ニ居ラレテ、斯ウ云フ解釋ガ詳シイデスカラ、アナタノ御意見ヲ伺ッテ置キタイ

○河原田國務大臣 私ヨリ社會局長官ノ方ガ正確デアリマスカラ、政府委員ヲシテ御答致サセマス、政府委員ノ答ヘマシタコトハ私ノ答ヘタコト、御諒承願ヒマス

○升田委員 ソレデハ是以上聽キマスマイ、第四條ノ第三號デアリマスガ、家族トカ遺族トカ云フモノヲ扶助スルノハ總テ

——譬ヘテ申シマスト現役兵ノ家族ヲ救フト云フノハ、現役兵ガ入營シタコトガ一つノ原因ニナル、又應召兵ノ家族ヲ救フ場合ハ、應召兵ガ應召シタコトガ其原因デアール、又傷病兵ノ家族ヲ救フト云フコトハ、是ハ傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタコトガ原因デアール、即チ是ガ基準ニナッテ居ル、隨テ死

亡シタ場合ハドウコト基準ニスルカト云フト、其下士官兵ガ死亡ノ時ヲ以テ基準トシナケレバナラス、是ハ他ノ家族ニ付テモ、例ヘバ現役兵ノ入營シタ時トカ、或ハ應召シタ時トカ、傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタ時ト云フコトノ此第三條第三號ヲ見テモ明カデアール、然ルニ此第三條ノ第三號ノ規定ハ下士官兵ガ、死亡シタ時デナク、入營シタ時若クハ應召シタ時ニ、其世帯ニ居ナケレバ救ハヌト云フコトデアアルガ、是ハ非常ニ間違ッテ立法ノヤリ方デアアルト思ッテ、度々之ヲ修正サレルヤウニ意見ヲ申シタケレドモ、ドウモ是ハ御贊成ニナラス、是ハ甚ダ宜クナイ規定ノヤウニ思フ、何故ナレバ是デアリマス、戦地ニ行ッテ死ヌ、或ハ平時滿洲ナドニ行ッテ死ニマシテモ、其間ニ生マレタ自分ノ弟妹ナドガ、自分ノ死亡以前ニ既ニ世帯ニ入ッテ居ッテモ、入營ノ時又ハ應召ノ時ニ生マレテ居ラス者ハ、是デ救ハレヌト云フコトニナリマスガ、是ハ餘程缺陷ノアル規定ノヤウニ思フ、此點ニ付テハ大臣ハドウ云フ様ニ御考ニナッテ居リマスカ、御尋致シマス

○河原田國務大臣 是亦政府委員カラ申上ゲタコトヲ、私ノ申上ゲタコトト御諒承ヲ願ヒマス

○升田委員 サウスルト、何ヲ聽イテモ暖簾ニ腕押シ見タイデ、自分デ御答ニナラレヌト云フナラバ、是以上聽キタイコトガアリマスガ、申シマシテモ無駄ト思ヒマスカラ、是ハ陸軍ノ方面ノ方ニ聽イタラ宜イト思ヒマス、此點ニ付テハ私ハ陸軍大臣ニ親シク御話ヲシテ見タイト思ヒマシタガ、時間ガナクテ到頭話ガ出來ナカッタ、私ハ内務大臣ニ對シテ質問ヲ是デ打切りマス

○川島委員長 陸軍ノ方ノ御質問ハ……

○升田委員 アリマス、今ノ根本問題ヲ伺ヒタイ、陸軍大臣ノ口カラ、サウ云フモノヲ救ハヌデモ宜イノカドウカト云フコトヲ……

○川島委員長 次官が見エテ居リマスカラ、ドウゾ御質問ヲ願ヒマス——陸軍次官ハ豫算總會ノ方ニ御急ギデスカラ……

○升田委員 サウデスカ、ソレデハ兎ニ角是以上陸軍ノ方ニ言ハナクテモ、私ハ想像デ陸軍ハ必ズヤ私ノ意見ニ御贊成ニナッテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、モウ是ハ私ハ質問ヲシナイデ、吾々委員ノ間デ研究スルコトニ致シマス

○梅津政府委員 先刻松本委員デスカ、御尋ガアリマシタガ、牛込ノ方デ准尉以下ノ非違行爲ガアッタヤウデゴザイマス、新聞ノ

記事ヲ御讀ミニナリマシタガ、アレヲ取調
ベテ見マシタガ、新聞ノ記事通りカ、詳シ
イ事實ハマダハッキリ分リマセヌガ、何等カ
ノ非違行爲ガアツテ軍法會議ニ掛ッテ居ルト
云フコトダケハ分リマシタカラ、御答申シ
テ置キマス

○川島委員長 是デ軍事救護法中改正法律
案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ——引續
キマシテ救護法中改正法律案、母子保護法
案ノ質疑ヲ繼續致シマス、齋藤君

○齋藤委員 私ハ母子保護法ニ付キマン
テ、二三御尋ヲ致シタイト思ヒマス、保護
法ヲ今回御提案ニナリマシタノハ、洵ニ時
宜ニ適シタル御提案デアリマシテ、吾々ハ
其當局ノ勞ヲ多トスル者デアリマス、就キ
マシテハ二三質問致シタイト所ハ、此第一條
第二項及第四項ノ例外ニ付テ、第一ニ御尋
致シタイト思フ

〔委員長退席、岡田委員長代理著席〕
「行方不明ナルトキ」又ハ「母子ヲ遺棄シ
タルトキ」斯ウ云フ玆ニ例外ガ設ケラレテ
居ルノデアリマス、私思ヒマスルノニ、此
「行方不明ナルトキ」是ハマア第二ニ致シマ
シテ、「母子ヲ遺棄シタルトキ」是ハ確ニ父タ
ル者ニ私ハ多クノ場合ニ於テ、惡意ガアル
ヤウニ思フ、又第二ノ「行方不明ナルトキ」

是ハドウモ分ラヌノデアリマスケレドモ、
恐ラクヤハリ惡意ノ伴フ場合ガアリ得ルノ
デハナイカト思フ、此母子ヲ遺棄シタル者
ニ惡意ノアツタ場合ニ、此保護法ヲ活用致シ
マスコトハ、ドウモ母子ヲ遺棄スルコトヲ
反面ニ於テ獎勵スルヤウナコトニナリハシ
ナイカ、隨テ私ハ思想善導上、却テ弊害ガ
發生スルノデハナイカト思フノデアリマ
ス、此點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ
居ルカ、更ニ併ナガラ遺棄サレマシタ以上、
ドウモ保護セヌ譯ニハイカヌト思ヒマス、
弊害ガアリマシテモ保護セヌ譯ニハイカヌ
ト思フ、ソコデ再ビ此遺棄者ガ現レマシタ
場合ニ、或ハ行方不明瞭ニナリマシタ場合
ニ、既ニ保護ノ爲ニ費シタル所ノ費用ヲ補
償セシメルヤウナ方法ガアルカドウカ、ソ
レヲ返還セシメルヤウナ方法ガアルカドウ
カ、或ハ此法律以外ニモサウ云フヤウナ制
度ガアルノカモ知レマセヌガ、ソレヲ一寸
考ヘ付キマセヌカラ御伺ヲ致スノデアリマ
ス、ソレカラモウ一ツハ此第一條第一項ニ
於キマシテハ「母貧困ノ爲生活スルコト能
ハズ」云々トアリマス、我國ノ家族制度ニ於
キマシテハヤハリ扶養ノ義務ハ御承知ノ通
リ、民法ニ一々規定サレテ居ルノデアリマ
スカラ、父ガ行方不明デアリマシテモ、或

ハ祖父ガ行方不明デアリマシテモ、ソレ
ゾレ扶養ノ義務者ノ順序ガ決ッテ居ルノデ
アリマス、其順序ヲドウサレルノデアルカ、
サウ云フコトニ拘ラズ此法ガ發動致スノデ
アリマスカドウカ、先ヅ其點ヲ御伺致シタ
イト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ノ中、遺棄
シタル場合ニ母子保護法ヲ働カセルト云フ
コトハ、或ハ却テ良風ヲ害スルヤウナ憂ハ
ナイカト云フ仰セデアリマシテ、御心配ノ
點ハ御尤ニ存ジマスガ、併シ兎ニ角母子ヲ
棄テルト云フコトハ餘程ノ事デアリマシ
テ、斯ク云フ救護、今回ノヤウナ母子保護
法ノヤウナモノガアリマシテモ、ソレハ決
シテ大シタ優待デハ無論ナイ、本當ニ必要
ナ最小限度ノ貧民ノ救護ノ程度デアリマス
カラ、サウ云フコトガアルカラト言ウテ、母
子ニ對スル親ノ人情、妻ニ對スル人情ト云
フヤウナモノヲ振切ッテヤルト云フコトハ、
先ヅナイデハナイカ、サウ云フコトノ爲ニ
風俗ヲ害スルト云フヤウナコトハ先ヅ大體
ニ於テナイノデハナイカト思ッテ居リマス、
併シ御説ノヤウニ遺棄セラレタ場合ニ於テ
ハ、遺ツタモノハ是ハドウシテモ救ッテヤラ
ナケレバナラヌ、ソレニ付キマシテハ遺棄
セラレタ者ニ對シテ、保護シテ居ツタ所ガ、

後ニ扶養義務者デアル所ノ夫ガ發見セラレ
タ、サウシテ其能力ガアルト云フヤウナ場
合ニハ、是ハ法律ノ上ニモ返還ノ義務ヲ負
ハシテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ扶
養義務ノ關係ノ事ヲ御問デアリマシタガ、
母ガ貧困デアリマシテモ、民法ニ依ル扶養
義務者ガアリマスレバ、ソレハ扶養義務者
ガアツテ扶養能力ガアリマスレバ、先ヅ扶養
義務者ガ扶養致スノデアリマス、ソレガ出
來ナクナツタ時ニ初メテ此規定ニ依リマシ
テ、公費ヲ以テ保護スルト云フノデアリマ
ス、サウシテ弊害ノナイヤウニ扶養義務ヲ
履行セシメテ、尙ホ或ハ扶養義務者ノナイ
場合、或ハ扶養義務者ガ扶養ノ能力ノナイ
場合、此場合ニ初メテ此法ガ動イテ、救護
ヲスルト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマ
ス

○齋藤委員 此「母子ヲ遺棄シタルトキ」ト
云フコトニ對シテ、多少私ハ意見ヲ異ニス
ルノデアリマスガ、ドウモ我國ノ家族制度
ト致シマシテ、近年ノ現象ヲ御覽ニナルト
能ク分ルノデアリマス、親子心中デアルト
カ、是ハ東京市内ニモ其數ガ非常ニ多ク、
警視總監アタリモ非常ニ心配シテ居ツタヤ
ウナ譯デアリマス、私ハ遺棄ト云フ場合ハ、
ドウモ惡意ガ伴フ方ガ多イノデハナイカ、

日本ノ家族制度ト致シマシテハ、親子心中ガ本體デアル、遺棄シタ場合ハドウモ是ハ惡意ガ伴フ、惡意ノ伴フ場合ニ保護スルト云フコトハ、ドウモ是ハ思想ヲ惡化セシムル、是ハ何カ此法ヲ御制定ニナル上ニ付キマシテハ、是等ニ付テ統計上ノ御根據ガアラウト思フ、是ハ警視廳アタリハ大分研究シテ居ルヤウデアリマスカラ、統計ヲ御取寄セニナツテ居ラウト思ヒマスカラ、ソレヲ一ツ承リタイ

○山崎政府委員 該當者ノ數ニ付キマシテハ、詳細ニ調査ヲ致シタノデアリマスガ、遺棄ノ中デ惡意ノ場合ト、然ラザル場合ヲ區別シテ調査シタモノハ、手許ニ持ッテ居リマセヌ、左様御承知願ヒタイト思ヒマス、尙ホ先程長官カラ申上ゲタコトニ依ッテ明瞭デアルト思ヒマスガ、夫ガ母子ヲ遺棄シマシタ場合、其夫ニ扶養ノ能力ガゴザイマスレバ、救護法ノ二十七條ノ二ノ母子保護法ノ十二條ニ準用致シテ居リマスルカラ、其規定ニ依リマシテ扶養義務者トシテ、ヤハリ扶養義務ヲ追求スルコトガ出來ルコトニ相成ッテ居リマス、法律ノ根據ダケヲ申上ゲテ置キマス

○齋藤委員 遺棄シタ場合ノ惡意ト、善意ト申シマスカ、其區別ヲシタ調査ガナイト

云フ仰セデアリマスケレドモ、是ハ中々重要ナ點ダト思ヒマス、私重ネテ申上ゲル必要モナイノデスガ、我國ノ家族制度トシテハ、斯様ナ場合ニハ、生活スルコト能ハズト云フヤウナ場合ニハ、心中ガ最後ナンデアリマシテ、ソレヲ遺棄スル場合ニハ、モウ是ハ夫タル者ニ惡意ガアル場合ガ、私ハ通常ノ場合デアルト思フ、是ハ重ネテ御研究ヲ願ヒタイト思フノデス、是ハ御研究ニナラヌト云フノデスカラ、御研究ニナツテ分ラヌケレバ分ラヌデ結構デアリマスケレドモ、マダ御研究ニナラヌト云フノデハ、一ツ其點ヲ御研究願ヒタイ、是ハ警視廳アタリデモ餘程心配シテ居ル、殊ニ前々ノ警視廳監アタリガ大變心配サレテ居ッタノヲ、私ハ間接ニ聞イテ居リマス、其次ニ御尋致シタイノハ——是ハ直接關係ガナイカト思ヒマスケレドモ、産兒制限ニ付テ社會局長官ノ御意見ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

○廣瀨政府委員 産兒制限ニ付テノ意見ト云フコトニナリマス、非常ニ大キナ問題デアリマシテ、或ハ私ガ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、私ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス、産兒制限ニ付キマシテハ、私ハ日本ノ現状カラ見マシテ、日本ノ人口問題等カラ見マシテ、サウ云フ風ガ段

段ニ殖エテ來ルト云フコトハ、非常ニ困ツタコトデアル、日本トシテハヤハリ何處マデモ産兒制限ナドト云フコトナシニ、人口ヲ殖シテ行クト云フコトハ、何處マデモ維持シテ行カナケレバナラヌ、サウシテ積極的ニ日本ノ發達ヲ圖ッテ行カナケレバナラヌモノダト思ッテ居リマス、産兒制限ニ因ッテ生ズル所ノ色々ナ弊害ニ付テハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、是等ニ付テハ何處マデモ、ソナ弊害ヲ伴フト云フダケノコトデナクシテ、サウ云フコトガ將來ノ國運ニ對シテ、非常ニ重大ナ問題デアルト思ヒマスカラ、産兒制限ト云フヤウナコトハ、日本デハアツテハナラヌコトト思ッテ居リマス

○齋藤委員 根本ノ御精神ハ分リマシタ、唯斯ウ云フコトニ付テハドウ御考ヘニナルカ、優生保存——健康ナ者ダケ一ツ吾々ノ子孫トシテ殘ス、其點ニ付テドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○廣瀨政府委員 優生ノ問題ニ付キマシテハ、從來モ色々ナ研究ガアリマスルシ、又御承知デアリマセウガ、法律案トシテモ斷種法ト云フヤウナコト迄モ、主張セラレテ居ルト云フヤウナコトモ承ッテ居リマス、私ハ優生ノ保存ト云フコトハ非常ニ結構ナコ

トダト思ッテ居リマスケレドモ、此爲ニ他面ニ色々ナ禁止其他ヲスルコトニ付キマシテハ、ソレハ私トシテハマダ十分ノ研究ヲ致シテ居リマセヌカラ、何トモ申上ゲ兼ネマス

○齋藤委員 私ハ此點ハ相當政府デモ御研究ニナラレテ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、母子保護法モ無論結構デアリマスケレドモ、ヤハリ一面ニ於テハ、吾々ノ健全ナル子孫ヲ永久ニ殘サナケレバナラヌノデアリマスカラ、如何ニシタラバ子孫ガ健全ニナルカ、國民ノ體位ガ向上スルカ、サウ云フコトニ付テハ、マア相當内務省アタリデ御調査ガアラウト思ヒマスガ、何かサウ云フコトノ御調査ハナイノデアリマスカ、是ハ或ハ社會局ダケニ御尋シテハ、見當違ヒカモ知レマセケレドモ、社會局カラ御覽ニナツタ此方面ノ何か研究ハナイノデアリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○廣瀨政府委員 御話ノヤウニ私ノ方ノ問題ト云フヨリモ、寧ロ衛生局ノ問題デアリマスガ、衛生局ニ於テハ相當研究ハシテ居ルノデアリマス

○齋藤委員 ソレデハ豫算ニ入ツタコトヲ一寸御尋致シマス、御配付ニナリマシタ此經費豫算ヲ拜見致シマス、年額ト三箇月

分ニ御分ケニナッテ御示シニナッテ居リマス、是ハ或ハ豫算ノ説明ノ際ニモ御話ガアツタカモ知レマセヌガ、私午前中吾々ノ會議ガアツテ缺席致シマシタノデ、若シ御説明ガアツタナラバ速記録ヲ拜見致シマスガ、此内容ヲ大體御説明願ヒタイと思フ、此生活扶助費、養育扶助費、醫療費ナドト云フモノハ、是ハ豫算ノ根據ガアラウト思フ、殊ニ此委員費ト云フモノハ何デアルカ、ソレカラ施設費ト云フモノハ何デアルカ、ソレ等ノ内容ニ付テ一通リ御説明ヲ願ヒタイ

○山崎政府委員 豫算ノ根據ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、御手許ニ配付シテゴザイマス資料ニ依ッテ御説明申上ゲタ方ガ、分リ易イト思ヒマスカラ、順次申上ゲマス、初メノ生活扶助費デゴザイマスルガ、是ハ母親ノ生活費ニ對シマスル扶助ノ經費デゴザイマス、大體母親ノ數ハ、此表ノ最後ニゴザイマスルヤウニ、祖母ヲ加ヘマシテ三万一千八百四十一人ト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ豫算ノ單價ハ一日一人十八錢ト云フコトニナッテ居リマス、其次ノ養育扶助費デアリマスガ、是ハ子供ニ對シマスル生活並ニ最小限度ノ教育ノ經費ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其基礎トシマシテハ、孫ヲ含メタ子供ノ數ガ六万三千六百八十二

人ト云フコトニ相成ッテ居リマス、一日一人平均十錢ト云フコトニ相成リマス、是ハ大體救護法ノ施行ノ狀況ニ鑑ミマシテ、サウ云フ經費ヲ計上シテ居ルノデアリマス、其次ハ醫療費デアリマスルガ、是ハ母子ノ病氣又ハ怪我ヲ致シマシタ場合ノ、醫療ニ關スル經費デアリマシテ、一人當リノ年額二十一圓二十八錢、要扶助者ノ數ガ七千四百二十五人、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマス、是モ大體救護法ノ實績ニ微シマシテ、斯ウ云フ基礎ニ致シマシタノデアリマス、其次ニ生業扶助費デアリマスルガ、是ハ母親ガ仕事ヲヤリナガラ子供ヲ養育スルノ適當ナ場合ガ考ヘラレルノデアリマス、簡單ナ副業デアリマストカ云フヤウナ場合ニハ、副業ノ資料ヲ供スルトカト云フヤウナコトモ、生業扶助費ノ中デ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、是ハ一人平均九圓九十八錢、生業扶助費ヲ付與スル要扶助者ノ數ガ三百十八人、斯ウ云フ計算ニ相成ッテ居リマス、其次ハ埋葬費デアリマスルガ、是ハ子供ナリ或ハ母親ナリガ亡クナリマシタ場合ノ、葬式ノ費用デアリマシテ、一件當リ六圓一錢、件數ニシマシテ七百三十七件ヲ見テ居ル譯デアリマス、其次ハ委員費デアリマスガ、法律ヲ御覽ニナリマスレバ分リマシヤ

ウニ、本法ノ施行ノ機關ハ市町村長ニナッテ居リマスガ、其補助機關トシテ方面委員令ニ依ル方面委員ヲ、補助機關ニ使フコトトナッテ居リマス、其方面委員ガ本法ノ施行ノ爲ニ、相當ノ經費ヲ要スルト云フヤウナ場合ニ、其辨償等ニ要シマスル費用ト致シマシテ、三万四千六百圓ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、是ハ一人當リ二圓ノ計算デアリマシテ、其人數ハ一万七千五十八人ヲ見テ居リマス、其次ハ施設費デアリマスガ、是ハ法律ノ第九條ヲ豫想致シテ居ルノデアリマシテ、所謂今日母子「ホーム」ト云フヤウナ名稱ノ下ニ、呼ンデ居リマス施設ノ經費デアリマシテ、此施設ヲ法律ニ認メマシテ、其助長發達ヲ圖リタイト云フノデ、施設ノ經費ヲ茲ニ組ンダノデアリマス、其費用ハ十一万八千五百八十三圓ニナッテ居リマスガ、是ハ一箇所建築費總額七千六百圓ト見マシテ、其八箇所分ヲ見テ居ル譯デアリマス、大體サウ云フ風ナ基礎ニナッテ居リマス

○齋藤委員 只今ノ施設費ヲ、モウ一回願ヒマス

○山崎政府委員 施設費ト申シマスルノハ母親ト子供ヲ一緒ニ其處ニ居住セシメマシテ、其施設ニ於テ面倒ヲ見テ行クト云フ、所謂母子「ホーム」等ノ施設ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、是ハ大體八箇所新設ヲ認メル計畫デアリマシテ、一箇所ノ建築費總額七千六百圓、斯ウ云フ風ナ計算デ出シテ居リマス

○齋藤委員 此施設費デ母子「ホーム」ヲ八箇所造ルト言フガ、是ハ將來増加シテ行クダラウト思ヒマスガ、此十二年度ノ八箇所ハ、何處ヘ御造リニナル御積リデアリマスカ

〔岡田委員長代理退席、委員長著席〕

○山崎政府委員 マダ此施設ヲ造リマス場所ハ、ハッキリ致シテ居ラヌノデアリマスガ、大體市町村ナリ、或ハ種々ノ社會事業團體デ建設ヲ希望シテ居リマス處ヲ、國家ガ助成スルト云フ立前ヲ取ッテ居ル譯デアリマス、併ナガラ現狀ニ付テ考ヘマスト、先ヅ大都市等ニ始メ、段々普及致シマシテ漸次市町村ニマデ及ボシテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○齋藤委員 私モウ一寸御質問シタイコトガアリマスケレドモ、一寸都合ガアリマスカラ次回ニ保留サシテ戴キタイト思ヒマス

○川島委員長 宜シウゴザイマス、片山君

○片山委員 私ハ此救護法ノ改正ニ付キマシテ、少シ質問ヲ致シタイノデアリマス、

主要ナ部分ヲ御尋致シマス前ニ、少シ豫備知識方欲シイト思ヒマスノデ、實ハ是ハ當初ニ於テ材料ヲ要求致シマシテ載クノガ本筋デアルト思ヒマスルガ、私途中カラ入りマシタノデ其手續ヲ省キマス、其代リ少シ材料ヲ御聴キ致シマスカラ、ドウカ其御積リデ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ御承知ノ如ク本會議ニ於キマシテ此問題ニ付テ政府ニ質問ヲ致シマシタコトヲ申シマスルト、私ノ考デハ此法律ト云フモノハマダ十分完全ノ域ニ達シテ居ナイ、其不足ノ分ヲ速ニ補充シナケレバ、救護事業トシテノ完璧ニ近付イテ行カナイノデアルト、斯ウ云フ趣旨カラ御尋ヲ致シタノデアリマス、隨テ其趣旨ヲ確メテ行キマスニ付キマシテ、少シ廻リ諄イヤウナ質問デアリマスルガ、必要デアリマスカラ一寸御尋致シマス、ソレハ第一ニ東京市ノ最近ノ御調ニ依リマス所ノ犯罪件數、ソレガ知リタイノデアリマ

スガ、アナタ方御分リアリマセヌデスカ、警察當局デナケレバ……

○山崎政府委員 一寸今手許ニ持合セガアリマセヌノデ、後刻司法省ト打合セマシテ、御手許ニ差上ゲタイト思ヒマス

○片山委員 ソレガ實ハ私ノ質問ノ出發點ニナルノデス、本會議ノ速記録ヲ御讀ミ下

サレバ分リマスガ、其處カラ出發シテ來テ居ル、一般ノ日本全國ノ統計ニ付キマシテハ、私モ存ジテ居リマスケレドモ、東京市ノコトガハッキリシタモノガ手ニ入ッテ居リマセヌ、ソコデソレガハッキリ致シマスレバ、其全國ノ統計ヲ基礎ト致シマシテ御尋ヲ進メテ行キタイト思ヒマス、即チ此問題ハ尙ホ御手許ニ統計ガナイコトト思ヒマスガ、地方デ罪ヲ犯シテ地方ニ居リニクイ爲メ、又職業ヲ得ラレニクイ爲ニ、段々サウ云フ人ガ東京市ヲ狙ッテ移住シテ來ルト云フコトハ、確ニ想像ノ付クコトト思ヒマスルガ、是等ノコトニ付キマシテモ不完全ナガラ何カ統計ガ手ニ入りマセウカ、ドウデセウカ

○山崎政府委員 只今御要求ニナリマシタ材料ハ、ハッキリシタモノハ中々難シイモノデナイカト考ヘマス、唯東京市内ノ御承知ノ、中央保護團體等ニ於ケル要保護者ノ數クラキハ、團體毎ニ分ルコトト思ヒマ

スガ、ソレ以外ハ中々難カシイ材料デナイカト思ヒマス

○片山委員 私ハ政府ニ於テハ斯ウ云フ統計ハ、何トカシテ拵ヘテ置イテ戴カナケレバ、日進月歩ノ極ク細微ニ互リマスル所ノ行政ヲ執ッテ行ク上ニ、私ハ遺憾ノ點ガアル

ノデヤナイカト思ヒマスルガ、政府當局ニ於テハソレハ別ニ差支ナイト御考ヘニナッテ居ルノデアリマセウカ、ドウデゴザイマスカ

○廣瀨政府委員 今御話ノ點ニ付キマシテハ、或ハ司法省ニ其種ノ何等カ御參考ニナルモノガアルカモ知レマセヌ、司法省ノ方ニ打合セマシテ、若シ今此處ニ司法省ノ方ニ來テ戴ケレバ結構デアリマスカラ、是カラ相談ヲ致シマス

○片山委員 私人ノ質問ハ先刻モ申上ゲマシヤウニ、茲ニ立脚シテ出テ行キマスカラ、何かソコニ種ガナイト進行シニクイノデアリマスガ、若シ司法省ノ其専門ノ方ガ居ラレマスルナラバ、交渉シテ戴クコトニ御願シタイト思ヒマス、只今材料ヲ承知致シマス上ニ付キマシテ、司法省ノ職員ノ方ニ來テ貴フヤウニ要求シマシタ、若シ其間ニ時間ガ澤山アリマストシマレバ、私ハ一應茲デ引下ッテ置キマシテ、他ノ方ノ……

○川島委員 ソレニ關係ナイ御質問ハアリマセヌカ

○片山委員 ソレカラ進ンデ行カナケレバ、一寸進ミニクイノデアリマスカラ……

○川島委員長 外ニ御質問ハアリマセヌカ
○岡田委員 一寸簡單ニ條文ノ第三條ニ付

テ御伺致シマス、ドウ云フ事デアリマスカ、解釋シニクイ點ガアリマス、即チ「母ガ性行其ノ他ノ事由ニ因リ」ト云フコトニ付テ、具體的ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○廣瀨政府委員 此法律ノ目的トスル所ハ、立派ナ子供ヲ母ニ依ッテ作ッテ行カウト云フコトデアリマシテ、母ノ性行ガ惡イト云フヤウナ場合ニハ、ドウモ母ヲ信用シテ子供ヲ育てテ行クベク公費ヲ以テ補助スルト云フヤウナコトハ、ソレハシテハナラヌ、ドウシテモ性行ノ善イ者デナケレバナラナイ、ソレカラ又「其ノ他ノ事由」ト申シテ居リマスノハ、是ハ例ヘバ精神的ニ缺陷ガアルト云フヤウナ場合ニモ、ヤハリ其母デハ子供ヲ立派ニ育て上グルコトハ出來ナイ、又身體的ニ缺陷ノアル者——傳染病等ノ關係デ、ドウモ身體的ニ缺陷ガアルト云フヤウナ場合ニモ、子供ヲ養育スルニ適シナイト云フヤウナ事情ガアリマスレバ、其時ハ母子保護法ニ依ル扶助ハヤラナイ、ト申スノハ、母ガ子供ヲ立派ニ育てルコト云フ目的ノ爲ニ働クノニ、母ガ適シテ居ナイカラデアリマス、併シサウ云フ場合デモ、子供ハ如何ニモ氣ノ毒ナコトデアリマスカラ、ソレハ一般ノ救護法ノ方デ保護ヲスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、母子保護法ノ

性質ガ、母ノ力ニ依ッテ立派ナ子供ヲ育テルト云フコトニアリマスカラ、母ノ性行ガ不良デアルトカ、或ハ身體的或ハ精神的ニ缺陷ガアルト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ母ニ對シテ信頼ヲシテ行ク譯ニハ行キマセヌ、其場合ニハ扶助ヲシナイ、斯ウ云フヤウナ意味デゴザイマス

○川島委員長 別ニ外ニ御質問ガアリマセヌケレバ、一時休憩ヲ致シマス

午後三時四分休憩

午後三時二十四分開議

○川島委員長 再開致シマス——片山秀太郎君

○片山委員 統計ヲ御知ラセテ願フデ置キマシタケレドモ、若シソレガ御分リニナラネバ、ソレデ宜シウゴザイマスガ……

○川島委員長 片山君ニ申シマスガ、モウ一度司法省ノ政府委員ガ御見エニナリマシタカラ、要點ダケヲ御述ニナッたら如何デスカ

○片山委員 改メテ申上ゲマスガ、司法省ノ方ニ斯ウ云フコトガ御分リニナルデセウカ、最近ノ統計デ宜シウゴザイマスガ、東京市ニ地方カラ一度罪ヲ犯シタ者ガ移入シテ來ル數デス、其數ハ斯ウ云フコトカラ調

ベタラ私ハ宜イト思ヒマスルガ、東京デ以テ一度罪ヲ犯シタ者ノ中デ、ソレハ警察ノ方デ御調ニナレバ、無論分ルコトト思ヒマシガ、中デ何縣デ是ハ會テ罪ヲ犯シタ、何市デ罪ヲ犯シタト云フコトハ、當然分ルコトト思ヒマスルガ、ソレハ正確デナクテモ宜シウゴザイマスケレドモ、大摺ミニ概略ノ數字ガ分レバ結構ダト云フ質問ヲ、今致シテ居ッタノデアリマス、御分リニナレバ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○松阪政府委員 御答致シマス、今ノ所デソレハ調査ヲスレバ、其事件ヲ處理スル當時ニ調査ヲスレバ、分ラヌコトハナイノデアリマスルガ、澤山ナノデ、司法省トシテハ東京ノ検事局ナリ、東京ノ裁判所デハ統計ヲ取ツテ居リマセヌノデ、一寸今統計表ニハ出テ居リマセヌ

○片山委員 アナタ方専門ノ考デ大摺ミデ宜シウゴザイマス、大數觀察デ宜ウゴザイマスガ、相當ノ數ニ上ルモノト見ラレテ居リマスルガ、ドウ云フモノデセウカ、御感ジデ宜シウゴザイマス、一寸承リマス

○松阪政府委員 來タ者ハ今ノ所一寸私共ニハ分リマセヌガ、東京デ處分サレテ東京近クノ刑務所デソレガ刑ヲ受ケマシテ、刑ノ終了後出タ人間ガ田舎ニ歸住スルコト

ニ、成ベク司法省トシテハ努メテ居リマスガ、中々ソレヲ嫌ガッテ、田舎ヘ歸ラナイデ、東京デ職ヲ求メルト云フコトノ傾向ノ相當多イコトハ、私共承知致シテ居リマス、唯併シ數ノコトハ統計ガゴザイマセヌカラ、今ノ所一寸申上ゲ兼ネマス

○片山委員 是モ大摺ミデ宜シウゴザイマスガ、刑務所ヲ出テ來テ職業ニ就イテ居ル者ガ、凡ソドレ位ト云フコトハ、六感デ大抵分リマスガ、統計ガアリマスマイカ

○松阪政府委員 統計ハゴザイマセヌガ、一寸大摺ミノ見當モ付キ兼ネマスノデス、唯東京ガ非常ニ犯罪人ガ人口ノ割合ニ比シテ多イト云フコトハ、ソレハ申上ゲラレマス、ソレヲ申上ゲマスレバ昭和九年ニ於ケル——是ハ東京市デハアリマセヌ、東京府全體デスガ、東京ノ地方區検事局デ有罪トシテ認定セラレタ者、起訴猶豫モゴザイマスガ、兎ニ角是等犯罪事實ノ認めラレタ者ガ、四十四万六千人バカリデゴザイマシテ、其人口十万人ニ對スル七千二百六十一人、十万人ニ對シテ七千二百ト云フ割合ニナッテ居リマス、是ガ浦和邊リニナリマス、千三百八十九人ト云フヤウナ勘定ニナッテ居リマス、東京ニ於テハ率ガ非常ニ多イト云フコトハ、言ヒ得ルト思ヒマス

○片山委員 サウ致シマス私ガ持ッテ居リマスル全國ノ統計カラ押シテ行キマスレバ、其四十四万ノ中デ先ヅ半數以上ハ職業ヲ得ルコトガ出來ズ、又相當ノ保護ヲシテ貰フコトガ出來ヌ者、親戚故舊等ガナイト云フヤウナ關係デ、詰リ二十万以上ノ者ガ再ビ刑務所ニ戻ッテ行クト云フ風ニ考ヘラレマスガ、其點ハドウデセウカ

○松阪政府委員 只今ノハ全部刑ヲ科シタ者デハナクシテ、検事局限リテ微罪或ハ起訴猶豫トシテ保護者ナリ、保護團體ナリニ引渡シタ者ガ、含マレテ居ルノデアリマスガ、其中デ幾何ガ又再ビ刑務所ニ行クカト云フコトハ、一寸此表デハ分リ兼ネマス

○片山委員 私ガ先程申上ゲマシタガ、私ノ持ッテ居ル統計ハ、斯ウ云フ統計ナノデス、是ハ司法省カラ出テ居ル刑事統計ノ中ニアッタト記憶シテ居リマスガ、是ハ特別ナ犯罪デアリマシテ、所謂再犯加重ノ例ニ嵌マル犯罪人デアリマスガ、此人員ト、ソレカラ一般普通ノ裁判ニナラヌ全體ノ犯罪者トノ割合ガ、丁度五〇%位ニナッテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ推シテ行キマス、大摺ミノ所、四十万人ノ犯罪者ノ中デ半分位ハ又刑務所ノ御厄介ニナルノデヤナイカト、斯ウ思ッダケナンデス、サウ致シマス

ト是ハ押問答シマシテモ、ドツチモ水掛ケ論デアリマスルカラ、其點ハソレデ宜シイト致シマシテ、假ニ東京市ノ中デ再犯ニ依ッテ刑務所ニモウ一遍戻ッテ行クト云フノガ、極ク内輪ニ見積ッテモ十万以上アルト、私ハ見テ差支ナイト思ヒマスルガ、サウ云フ人ハ、是ハドウモ色々ノ事情カラ職業ヲ得ルコトガ、普通ノ人ヨリモ困難デアルト云フコトハ想像ガ出來ル、ソレカラ親戚故舊ガアッテモ、一度ビサウ云フ瑕ノ付イタ者ヲ、餘リ今ノ人情トシテハ世話ヲシテヤラウト云フ義侠心ノアル親戚故舊ガ少イト、私ハ想像シマス、サウ云フコトニナリマスルト、結局サウ云フ者ハ吾々ノ帝都ノ詰リ一角ニ占據シテ居ッテ、サウシテ吾々ノ生活ニ不安ヲ醸ス所ノ原因ナリト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスルガ、社會政策ノ上カラ見マシテモ、刑事政策ノ上カラ言ヒマシテモ、斯ウ云フ者ハ適當ナ方法ヲ以テ、一般市民ニ不安ヲ與ヘルヤウナ原因ニナラナイヤウニ努メテ行クコトガ、此際國家ノ重要ナ、而モ喫緊ナ仕事ノ一ツデハナイカト斯様ニ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○松阪政府委員 御説御尤デゴザイマシテ、司法省ト致シマシテモ、刑務所カラ出マス刑ノ執行ヲ終ッタ人間ニ對シマシテハ、

刑務所ノ官吏ガ司法保護團體ト聯絡ヲ取りマシテ、一々此團體ニ通ジマシテ、出來得ル限りハ本人ノ郷里等ノ歸住地ニ、緣故者ガアリ監督者ガアリト云フ場合ニ、極力ソレヲ歸ヘスト云フ方針ヲ執ッテ居リマス、都會ニ居リマス、ドウシテモ再犯ヲヤル虞ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ方針ニ努メテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○片山委員 ソレハ至極結構デアリマスルガ、併シソレデハ先ツキモ御話ニナリマスヤウニ、中々喜ンデ歸ッテ行カナイト云フコトデアリマス 寧ろ地方ノ方カラ、コッチヘ流レ込ンデ來テ、其數ヲ増シ、其勢力ヲ殖ヤスト云フ方面ガ多クハナイカト私ハ考ヘマス、隨テ是ハ此儘ニシテ置ク譯ニハ行キマセヌカラ、願クハ此救護法ノ如キ法律ノ力ヲ以チマシテ、少クトモ其毒ヲ世間ニ流サナイヤウニ、是等ノ一定ノ住所ナリ、進ンデハ是等ノ中ニモ、救護團體ノ成績等ヲ拜見シマスルト云フト、一タビ罪ヲ犯シタ者デモ指導宜シキヲ得レバ、隨分眞面目ナ人間ニナッテ來テ、産ヲ爲シテ居ル者モアルヤウデアリマスルカラ、此點ハ特殊扱ヒヲセズトモ私ハ差支ナイノミナラズ、寧ろソレハ指導誘掖宜シキヲ得テ、改過遷善ノ實ヲ擧ゲサセタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、

是ハ國家ノ立場カラ申シマシテ、當然ノコトデアラウト思ヒマスルガ、ソレニ付キマシテ何か内務省社會局ノ方面ニ、御腹案デモアルコトト思ヒマスルガ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○松阪政府委員 司法省ト致シマシテハ、ソレ等ノ前科者、或ハ執行猶豫者ノ將來ノ保護ト云フコトニ付キマシテ、司法保護團體ノ内容ノ充實強化ト云フコト、竝ニ統制ト云フコトニハ、非常ナ關心ヲ持ッテ居リマシテ、其方ノ充實スル計畫ヲ研究シ、樹テツ、アルノデアリマス、非常ニ只今努力致シテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○片山委員 御尤ニ拜聽シマスガ、内務省ハソレニ付テ協力ヲスル御考デアリマスルカ、若クハ他ニ何か考デモアリマスルカ伺ヒタイ、先ツキ内務省ノ方ニ伺ヒマシタケレドモ御返事ガアリマセヌノデ、重ネテ御尋致シマス

○廣瀨政府委員 其種ノ司法省ノ仕事ニ對シマシテモ、内務省トシテハ極力協力ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又内務省關係ノ方ノ、色々ノ社會事業團體等ニ於キマシテモ、是モ亦ヤハリ其種ノ事業ニ携ッテ居ルモノモアリマス、是等ニ對シマシテハ、ソレノ國ノ援助ナリ或ハ内務省ノ社會

局關係デ、サウ云フ種類ノ仕事ニ對スル援助ヲスル大キナ團體ナドモアリマス、サウ云フヤウナ所デ、其種ノ團體ノ活動ヲ援助シマシテ、御心配ノ點ニ付キマシテハ出來ルダケ再ビ罪ヲ犯シ、再ビ刑務所ニ入ルト云フコトノナイヤウニ、有ユル努力ヲ拂ッテ進ム積リデアリマス

○片山委員 此救護團體ノコトニ付テ御話ガアリマシタカラ、私ハ茲ニ一ツ御伺ヲ致シマスガ、日本ノ救護團體ト云フモノハ、大抵寄附金等ヲ募リマシテ、基本財産ヲ幾ラカ持ッテ居リマス、其利子ニ依テ多ク事業ヲ營ンデ居ルモノト考ヘマス、所ガ御承知ノ如ク金利ハ下ッテ來ル、經費ハ段々嵩ンデ來ルト云フコトデ、此救護團體ノ現狀ト云フモノハ、大多數ニ於キマシテ餘程窮境ニ立到ッテ居ルモノト私ハ見テ居ル、此救護團體ノ物質上ノ關係ノミナラズ、精神的ニ活動スル方面カラ言ッテモ、是ハ一ツ大刷新ヲ加ヘナケレバ、所期ノ效果ヲ擧ゲ得ナイノデハナイカト云フコトモ、私ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレ等ノ點ニ對スル何か御考ガアリマスレバ承リタイ

○廣瀨政府委員 此社會事業團體ガ最近一般ノ金利安ノ爲ニ、自分ノ持ッテ居ル基本財産カラ收入ガ減リマシテ、非常ニ困ッテ居ル

ハ、ソレノ國ノ援助ナリ或ハ内務省ノ社會

ト云フコトハ、御話ノ通りデアリマシテ、

此點ニ付テハ各團體トモ非常ニ困ッテ居リ

マス、唯併シマア政府ト致シマシテモ、是

等ニ對シテ十分ナコトハ今考ヘテ居リマセ

ヌガ、或ル程度ハ補助ノ増額ヲ考ヘタリナ

ド致シマシテ、ドウニカヤッテ行ケルヤウニ

今色々心配ハ致シテ居リマス、併シソレ等

ノ事ニ關聯シマシテ、社會事業團體ニ對シ

マシテハ、色々ナ統制聯絡ト云フヤウナコ

トヲ十分ニ圖リマシテ、サウシテ徒ラニ二

重ニナラナイヤウニ、サウシテ又濫救――

濫ニ救助スルト云フコトノナイヤウニ能ク

聯絡ヲ執リ、統制ヲ圖ルト云フコトニ依リ

マシテ、其能率ヲ十分ニ擧ゲテ行クト云フ

ヤウナコトニ色々盡力シタイ、力ヲ盡シタ

イト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、此

種ノ問題ニ付テハ、議會ニ於テ色々御心

配ニナッタ建議等モアルノデアリマシテ、何

トカシテ此統制ヲ圖リ、聯絡ヲ完全ニシタ

イト云フコトニ、今研究ヲ進メテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ナ次第デアリマス

ヤウナコトモ、至極結構デアリマスガ、氣

分ノ置キ所ヲモウ少シ大處高處ニ置イテ、

之ヲ建直スコトガ必要デハナイカト私ハ思

ヒマス、是ハ意見ニナルカラ申シマセヌガ、

ソコデ話ヲ元ニ還ヘシマシテ、此再犯者ノ、

世ノ中ニ不安ヲ與ヘテ居ルト云フ點ヲ速ニ

除ク爲ニ、政府ニ於テ適當ナル事業ヲ起シ

テ、是等ノ人ニ安住ノ地ヲ與ヘ、同時ニ社

會ノ不安ヲ除クト云フ方面ニ邁進サレンコ

トヲ、私ハ切望スル者デアリマスルガ、ソ

レ等ニ付テハ何卒適當ニ、今直チニドウス

ルト云フコトハ御返事ガ出來ヌカモ知レマ

セヌガ、内務大臣ト司法大臣トノ間ニ於キ

マシテ、御相談ノ上デ、成ベク早ク是ガ處

置ニ對シテ御盡力ノアランコトヲ、切望致

シマス次第デアリマスルカラ、皆サンカラ

ドウカ其旨ヲ、御傳ヘテ願ヒタイト思ヒマ

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ガ、ザット再犯者ノ七〇%ニ該當シテ居リマ

ス、其點ニ付キマシテハ、一面ニ於キマシ

テハ司法保護團體ヲ強化致シマスシ、他面

ニ於キマシテ只今御意見ノゴザイマシタ或

ハ會社ノ組織ヲヤルカドウカ、サウ云フ

點モ折角致致シマシテ、成ベク近い機會

ニ御趣旨ニ副フヤウナ、或ハ法案カ其他ノ

施設ガ出來ルノデアラウト存ジテ居リマス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

ヒマス

昭和十二年三月六日印刷

昭和十二年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社